

少子化対策は 総合的な子育て施策が必要

加藤 幸子 議員

質問 保育料の引き上げは、所得税の10%フラット化による増税とあいまって、保育料の所得段階の階層が高くなり、低所得者の引き上げ率が大幅になるが対策は...

質問 第三子の保育料の無料化は、すべての第三子を無料にしても4000万円あればできる。無料にするべきです。

学卒業まで延長。また、病後時保育を実現し子育て支援を。 質問 医療費無料化の拡大は、総合的な枠組みでの検討が必要と考えます。

雇用を求めます。職員の設定管理や指定管理者制度で財政削減を見込んでいるが職員に犠牲を強いる削減計画はやめるべきです。



保育園のおゆうぎ風景

合併事業の 今後の方針と財政問題について

角田 喜和 議員

質問 今後の事業を行う中で、一般会計の借入残高が市民1人当たり35万8000円になる。厳しい財政状況の中で事業実施をどう考えているか。

管理の中で実施に向けて取り組むこととなります。 質問 赤城のコミュニティセンターについて、地域審議会の中でも、当初計画がなされていたものが、急ぎよ計画から外されたと聞くが、地域要望の優先順位は...

立て、必要性・有効性・計画熟度等を考慮し、緊急性の高い事業を優先的に実施していきたいと考えている。 質問 市税や国保税は上がる一方で、福祉施策がこれらからどうなるのか市民から見ると先が見えない。一体感の持てる醸成を目指す施策は。

社会への対応等重要課題の解決に向け、五つの重点施策を着実に推進します。 質問 渋川総合病院の医師確保は緊急を要する。医療対策協議会等々で話しはされているか。また、安心して子育てができる医師の確保が求められると思うが。

会派の紹介

議会において、自分たちの考えを最も効果的に市政に反映するために、所属政党や主義主張を同じくする議員が集まって会派をつくります。

みらい

宮下宏(代表)、石倉一夫、都丸政行、小林雅夫、飯塚清志、真下裕、入内島英明、吉田利治、山崎雄平、須田愛作、高橋敬、平方嗣世、伊藤俊彦、丸山正三

地方自治研究会

金子渡(代表)、今成信司、中澤広行、都丸均 私たちは、地方議会の役割を次のように考えます。市民の声を市政に届け、政策提言を行う。

渋川クラブ

新井晟久(代表)、板倉和男、安力川信之 我が会派は3名。9期目の大ベテラン板倉和男議員、同じく新井晟久議員、初当選を果たした新進気鋭の安力川信之議員で、新井、安力川両議員は公明党公認の議員です。

赤子クラブ

埴田彦一郎(代表)、横山鉄男、須田勝 合併後、初の市議会改選による30名議員の中で、利根川に橋の建設を望む4名の会派でスタートしました。当然、会の名前は赤城の「赤」と子持の「子」を取り赤子クラブです。

フォーラム渋川

南雲鋭一(代表)、藤田穂壽 合併後初めての選挙で旧市部より大島・篠田、旧村部より南雲の3名で30名中最大の会派をつくりました。大島勝昭議員が議長に就任し、2名になりました。建設水道担当の篠田、市民経済担当の南雲で「ゆりかごから墓場まで」を基本に据え、誰でも安心して暮らせるまちづくりを目指して全力で頑張ります。

会派に属さない議員

大島勝昭(議長)、望月昭治(副議長) 議員団長に角田喜和(総務企画常任委員) 副団長に加藤幸子(市民経済常任委員)

次回定例会のお知らせ

6月の定例会は、6月15日 から28日 までの14日間で開催する予定です。

議会を 傍聴しましょう

日本共産党議員団

角田喜和(代表)、加藤幸子 経験とざん新たな発想でチームワークを中心に頑張っています。 主役は市民であり、市民の税金を有効適切に活用するよう予算をしっかりとチェックしていきます。皆様のご意見をお寄せください。

角田喜和(代表)、加藤幸子 日本共産党議員団は選挙で2人になりました。いつでもどこでも市民が主人公の立場で、くらし・福祉・教育などをしっかりと守ります。市民の目線で市政をチェックしていきます。

30人の議員の中で唯一の女性議員がいるので、母と子・女性の代表として頑張ります。